

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本赤十字社長野県支部					
代表者名	氏名	阿部 守一		役職名	支部長	
主たる事務所の所在地	長野市南県町1074番地					
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉				
	中分類	8 3 医療業				
主たる事業の概要	赤十字事業の普及・推進					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	8,922	8,873	8,801		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	19,051		18,887		
	調整後排出量 t-CO ₂	19,051	18,735	18,884		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	177		174		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	97				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	ホームページ : https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

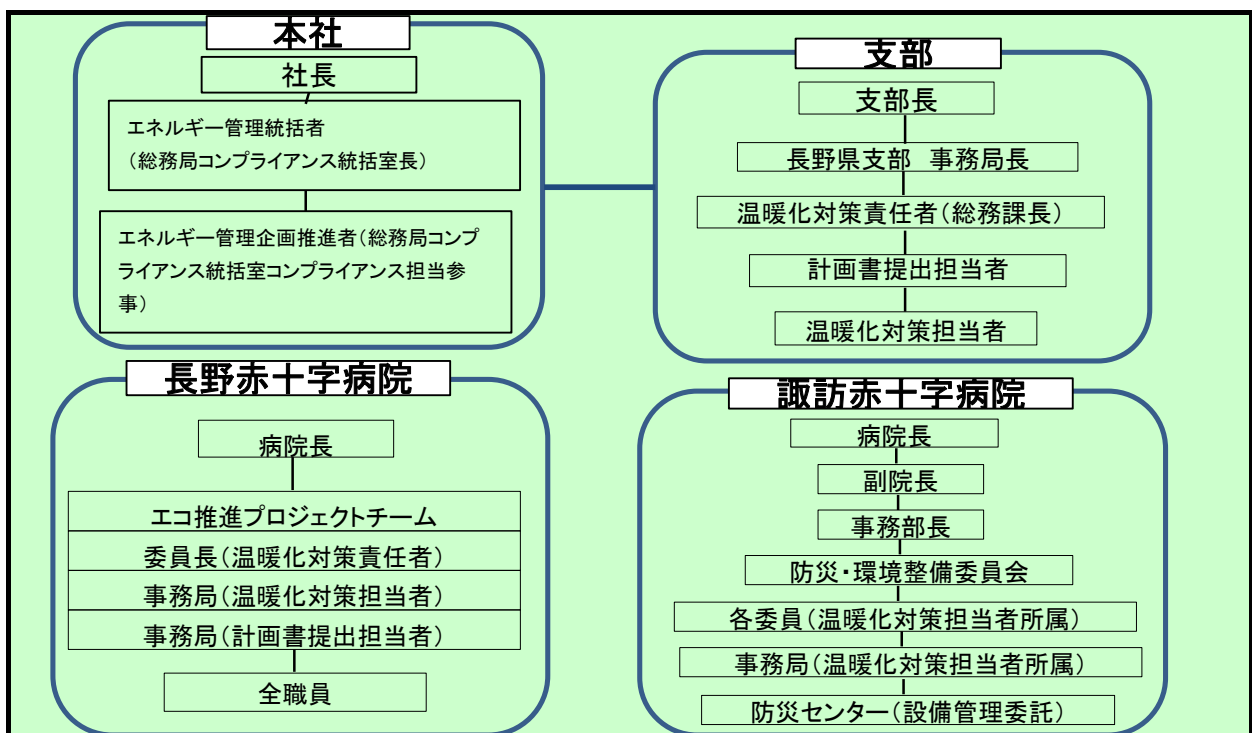
4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

赤十字の各事業を継続しつつ、県内赤十字施設が一丸となって温室効果ガスの排出量削減に取り組み、低炭素社会及び持続可能な社会の実現に貢献する。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2025～2030 年度	削減目標	C02排出量2%～20%削減（2015～2022年度比）
削減計画の概要	空調管理を徹底するとともに、省エネ性能の高い設備機器やハイブリッド車への更新等を行う。				
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他	

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

エコ推進委員会 年1回以上開催（長野HP）、防災・環境整備委員会 隔月開催（諏訪HP）省エネルギー委員会 年1回（安曇野HP）、業務連絡会議 月1回（飯山HP）、係長会 月1回（下伊那HP）管理会議 月1回（川西HP）、事業運営会議 月1回（血液C）、職員会 月1回（乳児院）職員会議 月一回（支部）、

6 の 1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	19,051	t-CO ₂	延床面積	155.59	単位	千㎡
2022年度	調整後排出量	19,051	t-CO ₂	基準原単位	122.44	t-CO ₂ /	千㎡
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	18,735	t-CO ₂	目標原単位	120.41	t-CO ₂ /	千㎡
2025年度	目標削減率	1.66	%	目標削減率	1.66	%	
目標設定に関する説明	空調管理や設備更新などの省エネ対策を講じることで削減を見込む値を目標とした。						
第一年度	排出量	18,887	t-CO ₂	延床面積	155.59	単位	千㎡
	削減率	0.86	%	原単位	121.37	t-CO ₂ /	千㎡
2023年度	調整後排出量	18,884	t-CO ₂	原単位削減率	0.87	%	
	削減率	0.87	%				
排出量等の増減理由	削減率はわずかであるものの、基準年と比較して猛暑かつ厳冬の中での削減が図ることができた。LED照明への切り替えが各施設で実施されていることや、デマンドコントロールによる電気量の削減の実施など設備面での改善や、施設内でのポスター掲示や省エネ周知といった職員意識の改革による継続的な改善を進めている。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	97	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	空調機	設定温度の管理（支部）	2023～ 2025	0.2	2023	
2	エネ起	空調機	空調設備の効率管理	2023～ 2025			
3	エネ起	空調機	空調設備に新しい省エネ制御機能（インバータ等）を搭載（諏訪HP）	2023～ 2025	39		
4	エネ起	昇降機・建物	共用部分窓ガラスに断熱フィルムの施工（安曇野HP）	2023～ 2025			
5	エネ起	空調機	設定温度・湿度の適正化（飯山HP）	2023～ 2025	5	2023	2
6	エネ起	照明設備	LED誘導灯への変更（下伊那HP）	2023～ 2025	4	2023	4
7	エネ起	空調機	設定温度・湿度の適正化 事務所エリアの運転時間の見直し	2023～ 2025	1	2023	1
8	エネ起	空調機	空調設備設定温度の適正化	2023～ 2025	4		
9	エネ起	空調機	運転時間、ファン動力の軽減対策	2023～ 2025			
10	エネ起	給湯・給排水	冷温水出口温度設定（飯山HP）	2023～ 2025	5	2023	2
11							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	35	0	35		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書（再エネ指定）	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年	0	3	3		
県が認証したクレジット （森林CO ₂ 吸収評価認証制度等）	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 （自家消費、PPA、自己託送等）	千kWh/年	58	基準年度と 同等量	25		
再生可能エネルギー電気 （小売電気事業者からの買電）	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,264	1	7,433				
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,738	1	5,560				
1,500k1未満	12	6,049	10	5,894				
合計	14	19,051	12	18,887				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	1	1		
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	3	3		
その他 (ハイブリッド等)	11	13		
合計	15	17	0	0
自動車総数	177	174		
次世代自動車導入割合	8.5	9.8		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	近距離通勤者を対象に自動車以外の通勤手段を呼びかけたり、県下一斉ノーマイカー通勤ウィークに参加するなど、通勤時の自動車利用の抑制に取り組んでいる。
自転車の利用促進	近距離への移動の際に社有自転車で移動するよう努めている。敷地内に駐輪場を確保し利用促進に取り組んでいる。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	敷地内に乗降場所を設置するとともに、運行案内掲示を行うことで、来客者への公共交通機関の利用を促し、自動車利用の抑制に取り組んでいる。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	社用車1台
物流の合理化	配送委託システムの導入を実施し、納品回数を減らしている。納品業者と一般車両の動線を分離している。

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
<input type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
<input type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
<input type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している	
		名称	
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/>	ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/>	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
<input type="checkbox"/>	その他		

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

<p>LED照明・二重サッシへの改修、敷地内緑化、自動車使用の効率化等、県内各赤十字施設がそれぞれの状況に応じた取り組みを進めるとともに、クールアースデーライトダウン活動への参加、ポスター掲示による啓発等により、職員一人ひとりの、温室効果ガス排出量削減に対する意識を高め、より効果的な取り組みとなるよう努めている。</p> <p>節水バルブ導入。</p>
